

移動販売で「誰一人取り残さない」社会を

チーム プロローグ 千代 白井 加藤 藤井 中川

目次

1. 湖南省の強み・弱み

2. 湖南省の現状

3. 先行事例

4. 政策提案

5. まとめ

湖南市の強み・弱み

強み

- 自然豊か
- 国宝湖南三山
- 伝統野菜復活事業
- どの世代も暮らしやすい

弱み

- 交通の便が悪い
- 観光客が少ない

湖南省の現状

「買い物が不便」に焦点
→ 70歳以上が62.7%

地域別：石部南(57.1%)
下田(60.5%)

総合戦略茶話会より、「めぐるくんの時刻表がわかりにくい」や「商売屋が無くなっている」という意見あり



「第二次湖南省総合計画後期基本計画」策定に係る
まちづくりアンケート調査結果報告書より

先行事例「とくし丸」

軽トラックを使用した移動スーパー

- ・ 滋賀県では大津・栗東・彦根・東近江市のスーパーが連携
- ・ 生鮮食品から日用雑貨まで約400品以上を販売
- ・ 個人宅前に加え、高齢者施設等で販売を実施

はじめまして!
移動スーパー
とくし丸です



社会貢献と買い物

- ・ 自ら商品を選ぶ
→ 買い物の楽しさを感じることができる
- ・ 利用者との交流
→ 地域の見守り隊に



湖南省で実施されている移動販売車サービス

「平和堂ホーム・サポートサービス」 平和堂石部店

- 2015年2月26日よりサービスを開始
- 会員制の「お買い物代行」
→ 事前にほしい商品を頼み 自宅まで配達
- 年会費が必要
- 市がサポートしているわけではない



[株式会社平和堂ホームページ](#)



平和堂は「地域社会へ尽くす」企業を目指します

[株式会社平和堂ホームページ\(heiwado.jp\)](#)より引用

移動販売車のメリット・デメリット

メリット

- どこでも販売可能
- 高齢者、体の不自由な方、子育てで家から離れることができない方などにも利用してもらえる
- 家の前まで運ぶことができるため、天候が悪くても影響がない
- 来店をせず、外で販売をするため新型コロナウイルスの感染対策にもなる

デメリット

- 初期費用がかかる（車・人材）
- 定期的な車の点検が必要
- 売り上げの見込みは立てづらい

政策提案

→移動販売を湖南省の特性を活かして行う

- ① 高齢者などの**買い物難民の需要が高い地域**で実施
- ② 移動販売車で**湖南省の伝統野菜も販売**
- ③ 移動販売車は**行政と民間の連携**で実現

平和堂移動販売車の比較

	現在	提案①
名称	「平和堂ホーム・サポートサービス」	湖南省移動販売車サービス
形式	▪ 事前にほしい商品を電話かFAXで頼む(お買い物代行) ▪ 自宅へ配達	▪ その場で商品が選べる ▪ 自宅や集会所(まちづくりセンター)などで商品を配達
制度	▪ 会員制 ▪ 年会費有り	▪ 会員制ではなく、誰でも利用することができる ▪ 年会費なし

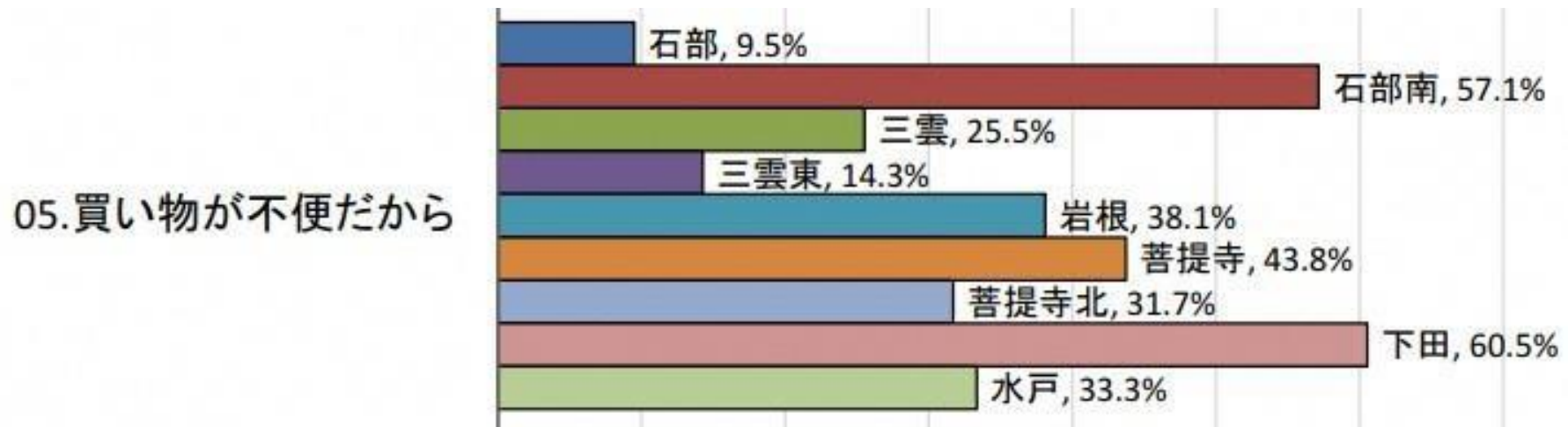
【提言理由】



商品を実際に見て買い物をしたいという声があったから

① 高齢者などの買い物難民の需要が高い地域で実施

まずは、買い物が不便であると感じている住民が多い「石部南」、「下田」地区で実施



出典：「第二次湖南市総合計画後期基本計画」策定に係るまちづくりアンケート調査結果報告書

買い物難民とは？



- ①移動手段がない高齢者
- ②体が不自由な高齢者

まず、試験的に高齢者を対象として実施していくことを提案する

令和3年3月1日現在

湖南省の人口

54,562名

高齢者（65歳以上）の人口

13,831名

約3割が高齢者

参照：市ホームページ 湖南省年齢別人口統計表（総人口）

買い物難民と言われる理由は？

※石部南に在住の方からの意見

石部南

- ①車を所有していない場合や運転できない場合、徒歩や自転車では遠い
- ②石部南の立地が坂であるため、買い物した後の荷物を徒歩や自転車で運び帰ることが大変



「KONAN MAP」で石部南と下田
地域を見ると・・・

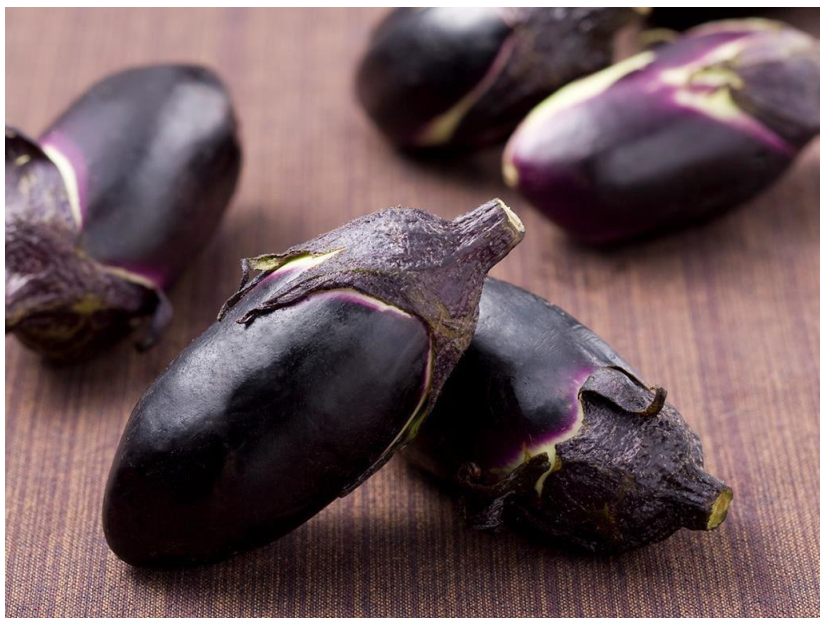
- ・石部南、下田ともすぐ近くに買
い物できる場所がなく車が必要
- ・地形が平坦ではない
(特に石部南)

図引用：移住定住サイト 「KONAN MAP」

https://www.city.shiga-konan.lg.jp/iju_konan/index.html

② 移動販売車で湖南省の伝統野菜も販売

湖南省の伝統野菜である「下田なす」、「弥平とうがらし」、「里芋」、「東寺献上ごぼう」、「朝国しょうが」を移動販売車で販売



出典 : <https://shigaquo.jp/foods/4881.html>



出典 : <https://www.burari-konan.jp/yahei/>

③ 移動販売車は行政と民間の連携で実現 とくし丸や平和堂と行政の連携事例を参考に、 湖南省において官民連携で移動販売を実現

地域のサステナビリティを積極的に推進します
「甲賀市移動販売モデル事業」開始のお知らせ
2021年6月14日（月）より「移動スーパー」が甲賀市内を巡回します



<移動販売車>

株式会社平和堂（滋賀県彦根市、代表取締役社長執行役員：平松正嗣、以下「平和堂」）は、2021年6月14日（月）より、滋賀県甲賀市の「甲賀市移動販売モデル事業」を開始しますので、お知らせいたします。

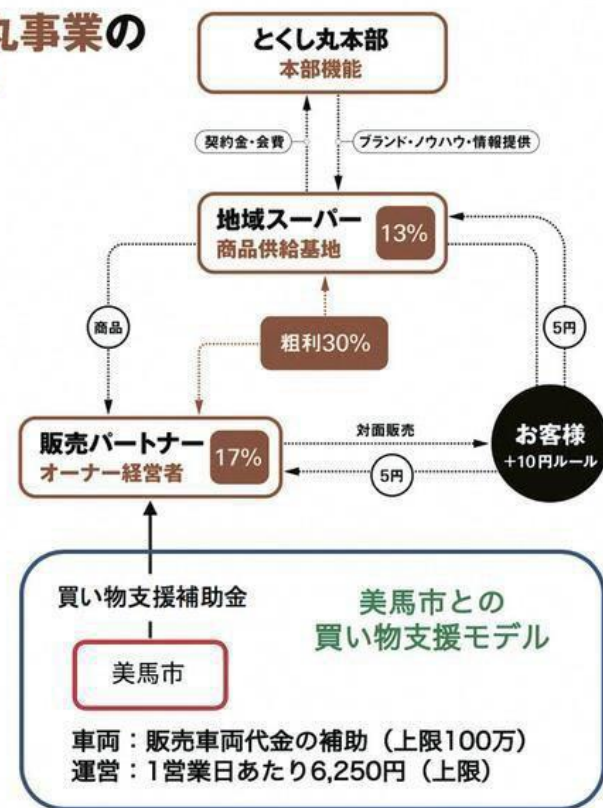
このモデル事業は、高齢社会に伴い、生活に不可欠な買い物に行くことが困難な高齢の方等を支援するため、市内で移動販売を実施するものです。お買い物のご不便を解消することはもちろん、コロナ禍における新しい生活様式の提案と閉じこもりの防止、また、地域住民同士の交流のきっかけづくりと見守りを目的としており、平和堂は、甲賀市より事業を受託しています。2021年3月には、「甲賀市移動販売実証実験事業」を甲賀市内20カ所で開催しました。

平和堂は、企業理念として「お客様と地域社会に貢献し続ける企業」を掲げており、「地域密着ライフスタイル総合（創造）企業」を目指しています。これは、地域の抱える課題について一緒に取り組むことで、明るく元気で、健康な地域を創っていくという「地域共創」が根幹であり、地域の持続的な成長に貢献し、地域経済が活性化し、社会がより良くなっていくことが、平和堂の成長と理念の実現に繋がると考えています。

地域のサステナビリティを積極的に推進し、「平和堂があってよかった」の実現へ向けて、地域の皆さまの暮らしをサポートしてまいります。

出典： https://www.heiwado.jp/news/2021/0610_kouga.html

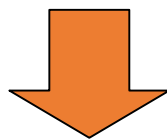
とくし丸事業の仕組み



出典： <https://www.minato-yamaguchi.co.jp/minato/e-minato/articles/104435>

行政と民間で連携する目的

- ・ 移動販売車を利用できる回数や時間帯を増やすように働きかけることができる
- ・ 行政側から買い物に不便を感じている人に対して声をかけやすい
- ・ 様々な場面で周知することができる
- ・ 行政が関連していることで安心感がある



関連するSDGs



SDGsが目指す「誰一人取り残さない」社会をつくることのできる

まとめ

① 買い物難民を救う



気軽に買い物ができ、コミュニケーションが取れる環境

② 知名度を上げる



伝統野菜を通したPR

参考文献

湖南省移住定住ガイドブック

「第二次湖南省総合計画後期基本計画」策定に係るまちづくり
アンケート調査結果報告書

令和3年度まち・ひと・しごと戦略茶話会要旨

[湖南省の伝統野菜「朝国しょうが」を復活させ、後世に引き継ぎたい！ - CAMPFIRE \(キャンプファイヤー\) \(camp-fire.jp\)](#)

[湖南省地域おこし協力隊員が伝統野菜事業を引き継ぎます／湖南省 \(shiga-konan.lg.jp\)](#)

[移動スーパーとくし丸 https://www.tokushimaru.jp/](https://www.tokushimaru.jp/)

参考文献

平和堂「甲賀市移動販売モデル事業」開始のお知らせ https://www.heiwado.jp/news/2021/0610_kouga.html

- みなと新聞「とくし丸が山間部で移動スーパー 徳島・美馬市の補助金活用」 <https://www.minato-yamaguchi.co.jp/minato/e-minato/articles/104435>

ご清聴ありがとうございました